



学校教育目標 社会に貢献しながら、
自立する生徒の育成
～気づき、考え、実行する～

やまゆり

校訓 「和の心」

指導重点

- ① 居心地がよく、やる気のある
学級集団・学校づくり
- ② 確かな学力の育成
- ③ 健やかな身体の育成
- ④ 豊かな心の育成
- ⑤ 生徒の良さを伸ばし、課題を
解決するための「連携・協働」を推進する



心温まる卒業式でした！

3月12日（水）、第78回卒業証書授与式を挙りました。「卒業証書授与」の場面では、卒業生9名全員に対して、“中学校の課程を修了したことを証する”と読み上げることができました。厳粛な中にも、温かさや優しさに満ち溢れ、小規模校ならではの良さを感じました。

改めて、この場を借りて、ご来賓の皆様、保護者とご家族の皆様、そして在校生の皆さんに、感謝申し上げます。ありがとうございました。

修学旅行に出発します！

来週、3月17日（月）から2泊3日の予定で、2年生は、修学旅行に出発します。3学期に入り、三贈会の企画・運営、卒業証書授与式の準備等と並行して、学習や準備を進めてきました。様々な学びを深めてきたいと思います。「修学旅行しおり」に寄せた、校長の文章を紹介します。

「百聞は一見に如かず」の続きは？

これは、多くの人が聞いたことのある諺ですが、文字通り「百回聞くより、一度でも自分自身の目で見た方が確実である」という例えです。漢書『趙充国伝』の「百聞不如一见」が出典です。将軍が遠い戦地での戦い方を問われ、「前線は遠く戦略を企てるのは難しい。まず、敵地の地図が必要で、私が敵地に向かい、企図する」と答えたのが始まりだそうです。この諺には続きがあります。

これを、普段の授業に置き換えると、……まず（授業を）聞いて、内容を理解することが肝要です。理解ができたなら、実際に行動することで、新しいものが生み出されます。何のために学び、行動するのかを考え、結果が出るように努力します。しかし、世の中には、努力ではなく、

百聞は一見に如かず … 聞くより、一度でも自分の目で見る。
 百見は一考に如かず … 見るだけでなく、考えないと意味がない。
 百考は一行に如かず … 考えるだけでなく、行動するべきである。
 百行は一果（効）に如かず … 行動するだけでなく、成果を出さなければならない。
 百果（効）は一幸に如かず … 成果は、幸せや喜びにつながらなければならない。
 百幸は一皇に如かず … 自分だけでなく、みんなの幸せを考えることが大事。



第78回 卒業証書授与式



「結果がすべて」となることがあります。ただ、その結果（成果）は、人を幸せにしてこそ意味があり、何を目指して頑張っているのか認識できていればやる気にもつながります。自分だけでなく、みんなが幸せになる結果（成果）が出れば、評価も高まります。みんなの幸福を願って取り組むことは、さらに意欲を高めます、……こんな具合でしょうか。

一方、何も考えていないと、……「聞いただけで分かったような気になる」「見ただけでできそうな気になる」「考えるだけでやった気になる」「行動しただけで満足して結果が出ない」……こんな状態に陥りがちです。

さて、前置きが長くなりました。いよいよ修学旅行に出発します。世界遺産をめぐる旅です。古都京都の文化財（1994 登録）、原爆ドーム（1996 登録）、厳島神社（1996 登録）を訪れます。私たちの祖先が残してくれた世界に誇れる文化遺産、核兵器の恐ろしさを後世に伝える負の遺産。皆さんは、何を見て、何を感じて、何を学んでくるのでしょうか。ぜひ、これからの自分の生き方や在り方を考える機会として欲しいと思います。この修学旅行で得た「百聞は一見に如かず」の発見から、みんなの幸せのために、何事にも精一杯取り組む一人一人であって欲しいと願っています。